

# スクールピックス

## 中学生が町の将来に提言

猪苗代中の3年生6人は11月25日、町役場を訪れ、町に提言を行いました。生徒は、これまで総合的な学習の時間に学んできたことを生かし、観光や産業、教育に関する提案を具体的にまとめ、「ICT教育を発展させてほしい」や「メガソーラーをつけないで」、「温泉バイナリー発電をおすすめします」などを提言。二瓶盛一町長は、これらの提言に対する町の考えやこれから取り組んでいこうとしていることを伝えました。



中学生の目線で町に提言する生徒たち



ひまわり子ども園幼児部の発表の様子

## 子どもたちが練習の成果を披露

ひまわり子ども園の保育発表会は11月29日(幼児部)と12月13日(乳児部)に、さくら子ども園の保育発表会は12月6日に、各子ども園で開かれました。子どもたちは、歌やダンス、劇や白虎隊の剣舞など、この日のために練習してきた成果を元気よく発表しました。ステージ上で一生懸命に取り組む子どもたちの姿に、会場を訪れた保護者からは大きな拍手が送られました。

# 第3回いなわしろみらい会議 2025

## 「未来の猪苗代町の姿」を想い描く

第3回いなわしろみらい会議は11月19日、学びいなかで開かれました。

会議では、前回までの成果を基に、グループごとに「未来の猪苗代町の姿」の実現に向けたアイデアを出し、その効果などを発表しましたので、その一部を紹介します。

- グループ①  
【未来のまちの姿】「ただいま」と『おかえり』でにぎわいを創り出すまち 猪苗代  
【アイデア】大人も子どもも「猪苗代」を学べる猪苗代スクールを設立する
- グループ②  
【未来のまちの姿】「どうにかしろいなわしろ オレも！オマエも！町の土台を輝かせ みんなで育てる町」  
【アイデア】猪苗代高校の情報発信
- グループ③  
【効果】関係人口の増加、Iターン・Uターン



- グループ④  
【未来のまちの姿】「豊かな自然を保ち、住む人来る人 みんな猪苗代を育てる町」  
【アイデア】若い世代とお年寄りの交流による町の活性化
- 【効果】40年前の人口(1万8千人)をこれからの10年で取り戻せたら町も潤う(10〜30代と40代)後期高齢者のさかんな交流が実現
- 【未来のまちの姿】「好きでしょ？猪苗代 おいしいときめき♡ そんなあなたに！うちの横空いてますよ！こつちや来い」  
【アイデア】ファーマーズマーケット チャレンジ特区
- 【効果】空き家・空き地を有効利用、町が活性化



## 「笑顔つむぐりレー」

町合併70周年のキャッチフレーズ「笑顔・つむぐ・未来」にちなんで、町民の皆さんの笑顔とともに、その人の知っている猪苗代町を紹介していきます。



撮影場所：西館橋

鈴木 清孝さん (西館・79歳)

Q猪苗代町のおすすめの(好きな)場所は？

天正17(1589)年に伊達政宗と草名軍が戦った「磨上原の戦い」の激戦地に建つ三忠碑周辺(磐梯山南山麓)。

30代で地方史研究会に入会し、初めて知った感動の地で、今でも心がときめく場所です。

Q猪苗代町のおすすめの食べ物は？

芳本茶寮の「わっぱ飯」。  
会津の食、価格、眺望、アクセスが揃っていて、来庁者におすすめできる一品。

Q猪苗代町での思い出の場所は？

沼尻軽便鉄道のモデルになったご当地ソング「高原列車は行く」の歌碑が建つ川桁駅前。

高校に通うために川桁駅を利用していました。その当時は、軽便鉄道に乗る人で商店街がにぎわっていたのが思い出深いです。

私たちが地域を元気に！  
地域おこし協力隊

鈴木 詩人さん

主な活動内容：緑の村振興、有害鳥獣駆除等支援



Instagram



Facebook

2023年6月から地域おこし協力隊として有害鳥獣駆除等支援と緑の村振興の2つの任務に取り組んできました。

有害鳥獣駆除等支援では、出没した野生鳥獣の追い払いや捕獲、電気柵の設置指導を行ってきました。新たに設置した地区の中には、被害が低減した場所もあり、自分も一緒に取り組んできた成果が実感できてうれしいです。このほか、鳥獣の出没時は、鳥獣対策メールマガジンを配信して、いち早く情報共有するよう心掛けてきました。

緑の村振興では、カワセミ水族館のチラシを商業・宿泊施設に配布しました。特に水族館の企画展ポスターは、町内外多くの事業者さんにも掲示していただき、イベントの認知度向上につながる事が出来ました。

今年5月までの残りの期間は、サル頭数確認や捕獲檻の移動を行い、業務が滞らないよう準備を進めていきます。

協力隊を終えた後は、町内で農家として独立する事を目指し、農業の勉強をしながら仕事をしていきます。これからも一町民として頑張りますので、よろしくお願ひします。